

# 図書館だより

73

## 図書館のレファレンスサービスをご存知ですか



西東京市中央図書館 レファレンスコーナー

レファレンスサービスってなに？



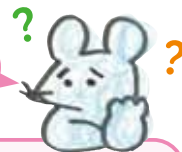
レファレンスサービスは、市民のみなさまの調査、研究をお手伝いするサービスです。

多くの蔵書から的確な資料を探し出すのは大変です。図書館員が辞書・事典などの専門的な資料やインターネット情報、外部データベースを使って、みなさまの調べたいことや必要な情報を探し出します。『？』があったら図書館へ！

## こんな質問がありました

西東京市の図書館に実際に寄せられたレファレンス事例をご紹介します！

自宅にある「ゴムノキ」が実を付けました！その実についての本ありますか？



「竜髭菜」はなんて読むんですか？

なんと読むかわかりますか？読み方がわからない漢字を調べるとき、皆さんは何を見ますか？今回使用したのはこちらの資料です。

★『当て字の辞典－日常漢字の訓よみ辞典－』（東京堂出版編集部／東京堂出版／2009.6）

→常用漢字表にはない読み方、あるいは通常とは異なる読み方をする言葉を調べることができます。巻末に音訓・部首索引がついています。「竜髭菜」に使われている「竜」の字を、音訓索引「たつ」から引いてみると…「竜髭菜」は「アスパラガス」と読むことがわかりました(p.214)！

庭の咲いた花について知りたい、あの木はなんという木だろう…そんな風に思ったことはありませんか？今回使用したのはこちらの資料です。

★『日本大百科全書 9 こうは-さう 2版』（小学館／1994）

→「ゴムノキ」はゴムを分泌する植物の総称で、いくつかの種類があることがわかりました(p.554)。その中でも日本で観葉植物として親しまれているのが「インドゴムノキ」です。

★『APG原色牧野植物大図鑑 2』（牧野富太郎[著] 邑田仁[編] 米倉浩司[編]／北隆館／2013.3）

→「インドゴムノキ」をひくと、果実だと思っていたものは花のう(中に小さな花が入ったふくら)だとわかりました(p.22)！ゴムノキはイチジク属。イチジクが「無花果」と書くことからわかるように、外からは花が見えず果実のように見えるそうです。

# 西東京市図書館のレファレンス

## 受付について

各図書館のカウンターのほか、電話、文書、FAX、ホームページ(webレファレンス)でお受けいたします。  
西東京市中央図書館 〒188-0012 西東京市南町5-6-11  
TEL:042-465-0823 FAX:042-463-9150

Webレファレンスはここから →



\*webレファレンス申込資格のある方

西東京市図書館に登録済みの利用カードをお持ちで、パスワード、メールアドレスの登録をされた西東京市民の方

## お答えできない場合

下記の質問についてはお答えすることができませんが、資料の紹介や情報の提供をいたします。

1. 人生案内もしくは身の上相談に関すること
2. 医療及び投薬相談
3. 法律相談及び特許相談
4. 古書類美術品及びこれに類するものの鑑定及び価格調査
5. 仮定または将来の予想など図書館員の推理、推論、価値判断を求める質問

## 受付できない場合

下記の質問は受付することができません。

1. 図書の購入・売却の斡旋または仲介
2. 文献の解読・翻訳・抜粋の作成
3. 学習課題の解答および論文の作成
4. 懸賞問題の解答
5. 計算問題の解答
6. 系図等の作成
7. 良書等の推薦
8. 他人の生命・名誉・財産等に損害を与え、または社会に悪影響を及ぼすとみられる質問
9. 網羅的な文献目録の作成
10. 調査・研究の代行
11. 個人のプライバシーに係る事柄の調査
12. 合理的な検索手段のない記事や写真などの調査
13. 文学作品の解釈

## 新着参考資料

ホームページにて毎月参考資料の新着本をご案内します。



## 「『争族』にならないために～知っておきたい初めての相続～」を開催しました！

11月17日(土)田無公民館 視聴覚室にて

遺産をめぐる家族が争う『争族』にならないためのかしこい備え方について、相続のしくみや遺書の書き方などを法テラス多摩法律事務所の長谷川弁護士にお話していただきました。

『争族』化危険度チェックシートを確認しながら、「他人事ではない…！」と相続の準備にさそく取りかかろうというきっかけになったとの声も、参加者の方から聞くことができました。

「備えあれば憂いなし」と言いますが、何はなくとも心の準備を。まずは図書館の本を読んでみるところからはじめてみませんか。

中央図書館の暮らしに役立つ法律情報コーナーでは、相続はもちろん、主題別六法・判例集や、法テラスや専門家への相談方法に関するリーフレットまでさまざまな資料を用意しております。ぜひご活用ください！

## 法律の調べ方

国立国会図書館リサーチナビを使ってみよう！

日本の法令を調べる



法律関連の参考資料



## 「英語多読 文字から音へ！～英会話への入口～」

平成31年2月2日 田無公民館 視聴覚室にて

西東京市での英語多読講座もはや3回目となりました。

今回は、前回・前々回の多読入門講座をふまえて、英語を聴く&話す、言語を音として理解するための講座でした。

「日本語と英語にひとつとして同じ発音をする文字はない」や「言語とはもともと、紙の上の墨字ではなく場面の中で生まれるものである」など、たくさんの名言が生まれた今回の講座、寒い中ではありましたが、満員の熱気とともに盛況のうちに終わることができました。



写真は、英語の息遣いを練習するためにティッシュペーパーを使って揺れ方を確認している様子です。

## 「冬やすみ・としょかんへいこう～小学生向きおはなしひろば～」

平成30年12月26日 ひばりが丘図書館にて



小学生を対象にしたおはなし会を開催しました。いつものおはなし会で聞くものより少し長いおはなしや、大きな絵本を楽しみました。また、科学的な仕組みにも興味を持ってもらえるような工作をおこない、「でんぐりがえし人形」をひとりひとり作りました。

# にんにん西東京

## 第22回 「医療むかしむかし」



西東京市図書館キャラクター  
西都右京くん

文政6年(1823)、備前岡山藩の元侍医で、15年間江戸で「針科修行」を行っていた賀陽玄雪(片伊勢東仙)が田無村を訪れました。医師の不在で困窮する村人を救うため、名主下田半兵衛(富永)は玄雪に村に留まるよう依頼し様々な援助を行いました。玄雪は家族を呼び寄せ田無村に定住します。その後、下田半兵衛(富宅)が名主を引き継ぐと、玄雪の子で長崎にも留学した玄順(済)や、福島道積などの医師を支援しています。

明治5年(1872)、「神仏判然(分離)の通達」によって田無村鎮守尉殿権現社が田無神社と改まり、吉備津宮神官の流れをくむ賀陽玄順(済)は初代宮司となり、代々賀陽家は神職を引き継いでいます。

明治の日本は、コレラ、痘瘡、赤痢など急性伝染病の大流行がおこり、明治19年(1886)には15万人が亡くなりました。当市域でも、幕末期の安政5年(1858)、文久2年(1862)にはコレラによる被害がありました。明治政府や町では防疫体制を確立するため衛生行政を進めることとしました。

西洋医学は普及してきましたが、当初多くの人々は漢方医の診察を受けていました。

明治10年(1877)4月〜11月の死亡診断書をもとに、病死者の年齢・病名をまとめると表のようになります。乳児の届出は行わないことがあり実際はこれより多かつたかも知れません。病名のうち、驚風は脳膜炎、傷寒は急性の熱病、肺癰は肺腫瘍、風毒・中風は脳卒中、咳嗽はせきのことです。

今は西東京市図書館で保存している田無市史編纂資料には数点の「診断書」が残されています。医師の氏名や当時の住所が確認できるものもあります。賀陽済、田中良伯、福島道積、小沢貞治郎、本橋養元、合田義和、また久米川村・南秋津村(現東村山市)、野中新田(現小平市)、上連雀村(現三鷹市)の医師の名もあり、村内に限られていないことがわかります。下の写真は、明治10年(1877)12月28日付の賀陽済医師による診断書です。

明治43年(1910)刊行、『武蔵文庫百家明鑑』の記載には、佐々時達(内・外・小児・婦人・産・耳鼻咽喉科)、塚原知和岐(内科)、

### 病死者の年齢と病名

年齢(歳)	男	女	病名
0~1		3	急驚風
1~4	1		(不明)
5~10	1		痰飲
10~20		2	血症、傷寒症
20~30	2		虚労水腫、肺癰
30~40			
40~50	1	1	肺労、血症
50~60	1	1	風毒、中風症
60~70		1	中風症
70歳以上	1		中風症
不明	1	1	虚労咳嗽、卒中風
計	8	9	

(『田無市史 第三巻 通史編』より)



賀陽済医師による診断書

早川五郎(歯科口腔)、本橋直春(内・外・婦人・小児科)などの名前があり、専門ごとに医師が存在していたことが判ります。

年6回(開催月5、7、9、11、1、3月)の主な議題

平成29年度図書館事業評価について

図書館計画策定懇談会報告について

平成29年度利用者アンケート調査について

図書館ホームページから  
ご覧いただけます



## 図書館協議会による事業評価への主なコメントは次のとおりです

- 『英語多読』は、多くの市民に好評な企画として迎えられており、おおいに評価されますが、今後の継続発展にあたっては図書館側としてのサービス方針の整理も課題です。
- データベースは市民にとってたいへん役に立つものですが、その存在や使い方がわからなければ、利用することができませんので、広報と講習会の継続的な実施を望みます。
- 市史編纂史料の電子化は、きわめて意義のあるもので、引き続き電子化を進めていただくことを望みます。あわせて西東京市関係資料の電子化事業についても、拡大継続されるよう望みます。
- 絵本と子育て事業のフォローアップ事業については、いずれの形にせよ必要ですので、今回の経験を活かし事業の継続を望みます。
- 宅配ボランティアによる、宅配サービスが可能になったことを評価します。一方で、宅配利用者の要望に十分耳を傾け、より慎重な対応を望みたいと思います。
- 多文化共生の地域づくりにつながる多文化サービスになるよう図書館サービスの枠組みを考えていただきたい。



## 「西 東京市図書館計画(素案)」についてパブリックコメントを行いました

図書館では、「西東京市図書館基本計画・展望計画」(平成21年度～平成30年度)が終了となることから、少子高齢社会、高度情報通信ネットワーク社会など、図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たに「西東京市図書館計画」を策定しています。今回の計画は、中長期的な視野に立った望ましい図書館のあり方を含めて、これからの図書館活動を推進するための計画として位置付けています。

計画の素案は、平成30年12月15日(土)から平成31年1月15日(火)までパブリックコメントを行い、20人の方から意見が寄せられました。詳細については図書館ホームページからご覧になれます。今年度末に計画がまとまり、新年度から事業の取組みを進めてまいります。



## 平成29年度利用者アンケート調査については次のとおりです

協議会のご意見は「認知度の低いサービスや取組みについて周知を強化するとともに、結果の分析からサービスの向上に努めてほしい。」とのことです。

# 小さなアーティスト



保谷第一小学校 4年



保谷第一小学校 4年

昔の図書館は、カウンターの奥に書庫があって、部外者の立ち入りは原則禁止されていました。入館するとまず、目的の図書の索引カードを選び、それを係員に取り次いで、書庫から持ち出されて来るという手順でした。閲覧室は当然ながら静粛厳守で少し重苦しい空気でしたが、席は余裕をもった造りに配慮されていたように記憶しています。

現在の開架式オープンシステムが取り入れられてから、直接自分の手で自由に選択出来るようになり、飛躍的に便利になりました。貸出手续も簡易になり、何時しか図書館は読書する場から、図書を自由に手に取って選ぶことができる気軽さを兼ね備えた場に変貌した感があります。閲覧室も縮小・簡素化され、街中の雑多な騒音まで入り込みます。

私は昨年から、図書館に様々な事情で自ら足を運ぶことが困難な人たちに、ご希望の本を届ける宅配サービスのメッセンジャーをしています。この宅配サービスは、図書館の新しい

試みです。この企画に賛同した魔女ならぬ6名の宅配協力員が従事しています。私たちは、図書館特製のバッグに梱包されたご希望の図書を自転車で自宅にお届けしています。この特製バッグは、読者のプライバシー保護を目的とするもので、返本の際も同様に使用されるので、宅配協力員は最初から最後まで、現物について一切関知出来ない仕組みになっています。

私は現在、お一人の定期、お二人の不定期利用者の宅配を担当しています。いずれも老熟されたご婦人です。子育てと家庭の雑事から解放されて、『念願の一人きりの自由時間を読書で楽しむのよ』と、謙虚に話されます。その言葉からも活字に親しむ習性が、積年の努力で養われたことがそこはかたなく人柄に偲べれます。

無事、授受が終わると何時も充実感を味わいます。同時に、これほどの些細な行為で喜ばれると、改めて市民の図書館に抱く信頼と期待の顕れではないかと考えています。

利用者エッセイ  
**わたしと  
図書館**  
宅配協力員 S.A.